

東京オリンピック・パラリンピックへの花き利活用に関する 要 望 書

埼玉県鴻巣市地域の花き事業につきまして、かねてより特段のご理解とご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。

鴻巣市の花きの生産は昭和23年にパンジー生産からはじまり、現在市内の花き生産農家は200軒を超えており、花の一大産地として発展しました。中でもプリムラ・サルビア・マリーゴールドの出荷量は、日本一を誇っています。

鴻巣市はじめ、生産している周辺地域は東京都心から50キロ圏内の位置にあります。平成20年には荒川馬室河川敷のポピー畑が栽培面積日本一として登録され、毎年5月にはポピーまつり、吹上ポピーまつりや鴻巣オープンガーデン等開催しており「花のまち・こうのす」として全国的に知られるようになりました。これまで関係省庁のご理解のもと、様々なご支援を賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。

この度、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決まり、首都圏の再開発やインフラの整備、観光客のおもてなしをはじめ、これまで以上に日本経済をはじめ多岐に渡り、注目が予想されております。

現在、埼玉県、生産者団体とも連携をし、①高温期における花植木生産・流通技術事業、②花植木フィールド戦略会議開催事業、③産地革命支援事業の事業に取り組んでおります。夏場に国産花きを安定的に生産・供給を行う上で、活用が想定される品目や供給時期の検討し、高温期に適した商品開発等を行い、必要量を確保し安定供給体制を構築することで花き産業の発展、花植木産業の成長に寄与すると考えております。

今後の輸出を含む需要拡大に資するため、関係する様々な施設やイベントなどへの花きの積極的な導入・利活用をお願いして参りたいと考えております。このような事情をご賢察の上、下記事項について特段のご高配を賜りますようお願いいたします。

要望事項

- 1、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおいて、選手・関係者が使用するビクトリーブーケはじめ競技場、関連施設において、鴻巣市花きはじめ国産花きの積極的な導入・利活用を推進すること
- 2、来日された方々が、空港や駅等の供用スペースにおいて、鴻巣市はじめ国産花きを利用した展示・装飾をし、おもてなしの花き装飾を推進すること

3、今後の輸出を含む需要拡大に資するため、鴻巣市花きはじめ国産花
きの素晴らしさを国内外にアピールするよう努めること

平成28年3月10日

自由民主党内閣部会長

衆議院議員

中根 一幸

鴻巣市長

原口 和久

埼玉県議会議員

中屋敷 慎一

鴻巣市商工会会長

小林 忠司

鴻巣市花組合組合長

山崎 茂

鴻巣市花組合副組合長

平賀 智之

鴻巣市花組合相談役

吉田 誠

鴻巣花き株式会社代表取締役

島田 守

鴻巣市議会議員

野本 恵司

鴻巣市議会議員

坂本 国広